

新型コロナウイルス感染対策のための CO₂ガス検知器のご提案

CO₂濃度の測定で室内の換気目安に！

— 会議室・学校の教室・密集して集まる部屋の感染リスク低減に —

きちんと換気
できているのか？

どのようなタイミングで
実施すれば良いのか？

⇒CO₂（二酸化炭素）濃度の測定がひとつの目安となります！

換気が不十分な室内に人が多く集まると、人の呼気によりCO₂の濃度が上昇します。コロナ禍における感染発生リスクの回避として、CO₂濃度を可視化することで適切な換気管理の目安とすることができます。



※延面積3,000㎡以上の建物では、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（通称：ビル管理法）により**室内のCO₂濃度を1,000ppm以下（屋外のCO₂濃度は約400ppm）で維持管理する**ように規定されています。また、事務所衛生規則においても同様にCO₂濃度を1,000ppm以下にすることが規定されています。（学校衛生基準では換気の基準として、二酸化炭素は、1,500ppm 以下であることが望ましいとされています。）

CO₂濃度を測定することにより、室内の換気状態及び密集状態を把握することができます。換気の悪い密閉空間（感染発生リスク）の回避の目安とし、CO₂濃度が1,000ppm以下となるように、換気及び人の密度を下げるなどの対応を行い、感染発生リスクの高い状況の改善を実施しましょう。

感染対策推進のため、特別価格にてご提供いたします！

ポータブル式モニター

MODEL : GX-3R Pro

詳しい仕様は
こちら



手のひらサイズだから、
複数のポイントを順番に測定できます！

- ・CO₂の1,000ppm管理が可能。（10,000ppmまで測定可）
- ・電源を投入し簡単操作ですぐに使えます。
- ・任意に設定した濃度で警報を発報できます。
- ・乾電池式と充電式をラインアップ。
- ・Bluetoothでスマホやタブレットと通信が可能。（専用アプリを介してリアルタイムで検知情報を共有できます。）

定置式モニター

MODEL : RI-600

詳しい仕様は
こちら



設置してコンセントを繋ぐだけ。
あっという間に測定スタート！

- ・①0～2,000ppmレンジ（1,000ppm管理に最適！）
- ・②0～5,000ppmレンジ
- ・③0～10,000ppmレンジ の3タイプをご用意。
- ・あらかじめ設定された濃度で警報を発報。
- ・3色に光るLCD画面で検知状態がすぐに分かります。